

製品名: SSX2IP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02636**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 71 kDa; Observed MW: 71 kDa

抗原情報

遺伝子名	SSX2IP
別名	ADIP; hMsd1
遺伝子 ID	117178
SwissProt ID	Q9Y2D8
免疫原	ヒト SSX2IP の合成ペプチド

背景

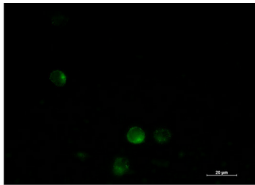
接着システムに属し、同型、ニューロン間、異型の細胞間接着結合（AJ）の組織化に役割を果たす。α-アクチニンを介してネクチン-

アフジンおよびE-カドヘリン-カテニン系を接続し、アフジンと α -アクチンを介してAJでのアクチン細胞骨格の組織化に関与している可能性がある。細胞運動に関与：PDGFに反応して運動中の細胞の先端に局在し、先端の形成と細胞運動の促進に必要であり、おそらくRacシグナリングの活性化を介している。中心体成熟因子として作用し、おそらく中心体周囲物質の完全性と有糸分裂紡錘体極での適切な微小管核形成を維持している。この機能は、少なくとも部分的にWRAP73に関与していると思われる。SSX2IP:WRAP73複合体は、有糸分裂中心体における紡錘体のアンカーを制御する因子として作用することが示唆されている(PubMed:23816619, PubMed:26545777)。繊毛形成にも関与する(PubMed:24356449)。また、BBSome、CEP290、RAB8、およびSSTR3を繊毛に標的にリクルートするために必要である(PubMed:24356449)。

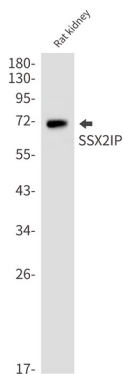
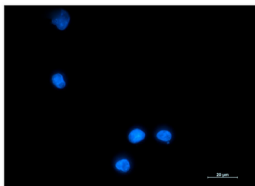
研究分野

タグとセルマーカー

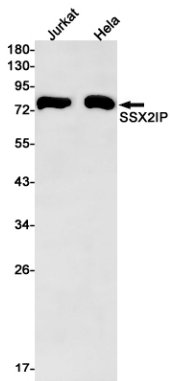
画像データ



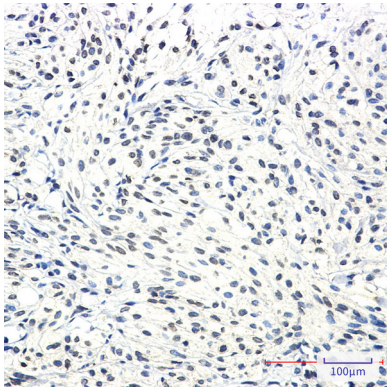
SSX2IP抗体とDAPI(青)を使用したK562におけるSSX2IP(緑)の免疫細胞化学分析。



SSX2IP抗体を使用したラット腎臓溶解物中のSSX2IPのウエスタンブロット分析。



SSX2IP 抗体を用いた Jurkat、HeLa ライセート中の SSX2IP のウェスタンブロット分析



SSX2IP 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。